



AI生成画像

水月湖の年縞に 刻まれるもの

2026.8.5(水) ~ 2026.10.12(月)

【福井県年縞博物館】

展示会場

【若狭三方縄文博物館】



年縞
博物館
VARVE MUSEUM

TEL: 0770-45-0456

Email: varve-museum@pref.fukui.lg.jp

三方湖の畔、縄文ロマンパーク内に隣接する2つの博物館

- ・福井県年縞博物館 自然環境編
- ・若狭三方縄文博物館 自然活用編



ドキ
ドキ

TEL: 0770-45-2270

Email: jomon@town.fukui-wakasa.lg.jp

【開館時間】 9:00~17:00 (最終入館は16:30)

【休館日】 火曜日(両館共通) ただし、夏休み期間中は無休

※詳細は各館のホームページ参照

【入館料】 <各館> 一般: 500円 / 小中高生: 200円 (常設展含む)

未就学児: 無料 (両館共通)

70歳以上: 無料 (年縞博物館)

若狭町民: 無料 (縄文博物館)

<両館共通観覧券> 一般: 700円 / 小中高生: 280円

【アクセス】 〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1

・JR小浜線「三方駅」から 徒歩25分、レンタサイクル10分、タクシー5分

・舞鶴若狭自動車道「若狭三方IC」、「三方五湖スマートIC」から 車5分



【主催】 福井県年縞博物館、若狭三方縄文博物館

【展示協力】 組織: 滋賀県立琵琶湖博物館・福井県海浜自然センター・福井県里山里海湖研究所・福井市自然史博物館・立命館大学古気候学研究センター

個人: 近藤竜二 (福井県立大学教授)・齋藤めぐみ (国立科学博物館研究主幹)・清水遥斗 (日本野鳥の会会員・福井県若狭町立三方中学校3年)・

高橋繁応 (日本野鳥の会会員)・田辺春雄 (海山漁業協同組合)・富沢草 (石川むしの会会長)・山田圭太郎 (山形大学講師)・

吉村太郎 (東京大学総合研究博物館特任研究員)

福井県年縞博物館と若狭三方縄文博物館は三方五湖の1つである三方湖のほとりに位置しています。三方五湖の周辺は自然豊かで、縄文時代からその自然を利用し、人間が生活してきました。そして、周辺の遺跡には利用した痕跡が残り、生物と人間活動が三方五湖の堆積物に刻まれています。三方五湖周辺で見られる生物はどのようなものか、過去にはどうであったか、人々は自然をどのように利用してきたのかをこの特別展では紹介します。



年縞博物館

自然環境編

三方五湖の現在と過去にいた生物の紹介

- ・世界最小のネズミ「カヤネズミ」のはく製
- ・三方湖産の巨大カラスガイ他、貝標本
- ・ヤマトタマムシ、ヒメオオクワガタ他、昆虫標本
- ・日向湖と菅湖の水^{ひるが}中^{すが}・湖底映像初公開など



縄文博物館

自然活用編

遺跡等から出土した生物由来の遺物の紹介

- ・ハス（魚）の現生骨格標本
- ・イノシシ、シカ、サルなどの動物の骨
- ・木製品
- ・古代の食生活を物語る資料など



担当学芸員展示解説

【日 時】 未定（8月下旬から9月上旬の間のいずれかの日。決まり次第HP・SNSで御案内いたします。）

記念シンポジウム



水月湖年縞が記録する 過去・現在・未来

《基調講演》

「湖沼堆積物中の環境DNAはタイムマシンとなるか」

【講 師】坂田 雅之（北海道大学大学院農学研究院・助教）

《パネルトーク》

「移り変わる三方五湖の生き物」

【パネラー】近藤竜二（福井県立大学海洋生物資源学部・教授）
坂田雅之（北海道大学大学院農学研究院・助教）
中川 毅（立命館大学古気候学研究センター・教授）
吉田丈人（東京大学大学院農学生命科学研究科・教授）
【司 会】山根一眞（福井県年縞博物館・特別館長）



日 時 令和8年 8 月 22 日（土）14:00～16:00（13:30開場）
会 場 リブラ若狭（〒919-1393若狭町中央1-2）
◎年縞博物館・縄文博物館から約1.5km、車で5分
◎三方駅（JR小浜線）から徒歩15分（約1km）
定 員 150名（先着・事前申込）

《お申込み方法》

8月20日までに、下記ウェブサイトからお申し込みください。Fax、電話でも受け付けています。

【お申込みURL】

<https://forms.cloud.microsoft/r/5U7r7vBEn0>



T E L : 0770-45-0456
F A X : 0770-45-3680

入場
無料

